

英検3級面接

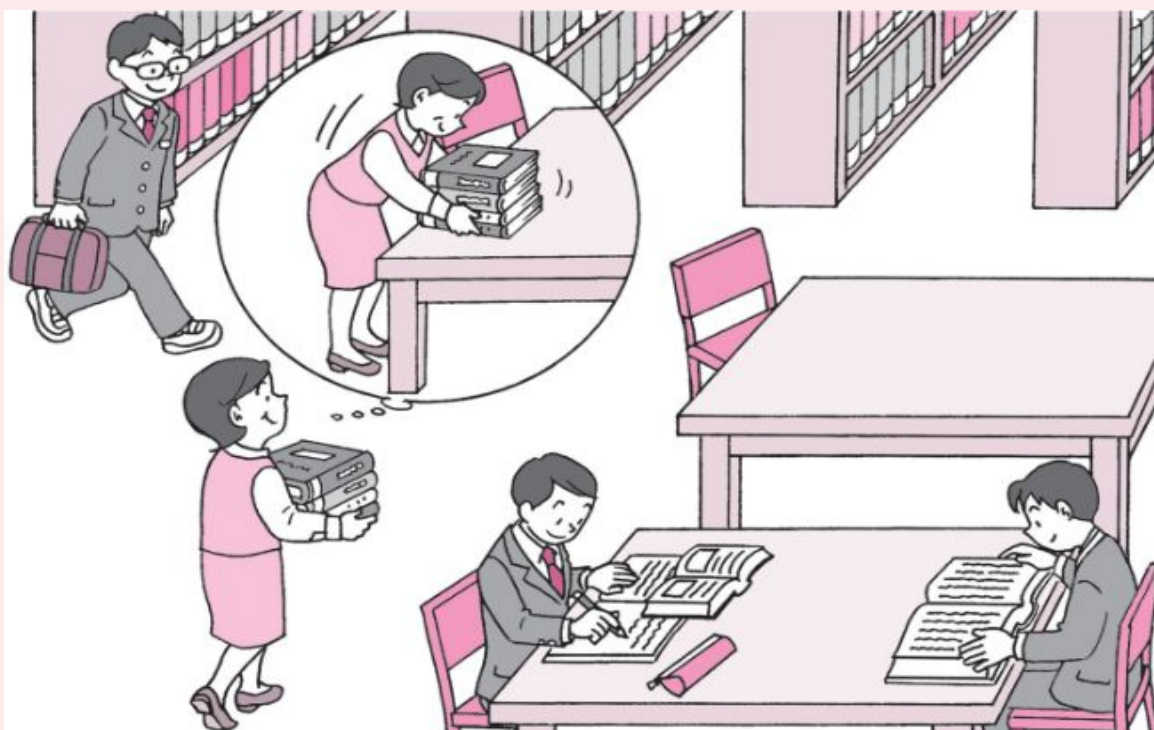
★ 合格のコツ

サンプル問題

面接では、パッセージ(英文)とイラストが印刷された「問題カード」が渡されます。例を見てみましょう。

School Libraries

Most schools have a library. Many students often go to the library after school, and they enjoy reading many kinds of books there. Students can use the Internet at some school libraries.



No. 1 パッセージについての質問

Please look at the passage. When do many students often go to the library?

解答例: They often go there after school.

No. 2 イラストについての質問

Please look at the picture. Where is the woman going to put the books?

解答例: She's going to put them on the table.

No. 3 イラストについての質問

Please look at the boy wearing glasses. What does he have in his hand?

解答例: He has a bag (in his hand).

No. 4 受験者自身の意見などを問う質問

What would you like to do next weekend?

解答例: I'd like to play soccer with my friends.

No. 5 受験者自身の意見などを問う質問

Which do you like better, summer or winter?

解答例: (I like summer. と答えた場合) Why? I like to go swimming in the sea.

面接の流れ

1. **入室** 受付を済ませたら控え室で待機します。「面接カード」を渡されるので、氏名・個人番号などを記入しましょう。係員に面接室前へ案内される際は、荷物をすべて持って移動します。自分の番がきたら係員の指示に従い、May I come in? などと挨拶して入室しましょう。

ポイント

受付からここまでは日本語で案内されます。ノックしたあとはドアを開け、Hello. などと挨拶して入室しましょう。

2. **「面接カード」を渡す** 面接委員とのやりとりは、すべて英語で行われます。「面接カード」を渡すよう指示されるので、Here you are. と言って差し出しましょう。

ポイント

控え室で記入した「面接カード」を、面接委員に渡します。Can I have your card, please? (あなたのカードをいただけますか)などと言われるので、Here you are. (どうぞ)と答えて差し出しましょう。

3. **着席** 面接委員の指示に従って着席します。荷物は自分の席の脇に置きましょう。

ポイント

Please sit down. (座ってください)などと着席を促されるので、Thank you. と答えて座りましょう。何も言わずに座ったり、うつむいたままでアイコンタクトを取らなかったりすると、「コミュニケーションの意欲がない」と思われてしまうので気をつけてください。手荷物は、隣に空いた椅子があればその上に、なければ自分の足元に置きましょう。

4. **氏名・級の確認、挨拶** 面接委員に名前を尋ねられます。My name is ... と明瞭に答えましょう。そのあと、3級のテストであることを確認されます。それから簡単な挨拶も交わされます。

ポイント

面接委員が What's your name, please? (あなたの名前を教えてください)などと聞いてくるので、My name is ... と答えましょう。受験級を確認する質問もされます。This is the Grade 3 test, OK? (これは3級のテストです。いいですか)などと尋ねられるので、OK. と返事をしましょう。How are you today? など、簡単な挨拶もされるので、はきはきと I'm fine. と返しましょう。

5. **「問題カード」を受け取る** パッセージとイラストが印刷された「問題カード」を、面接委員から渡されます。

ポイント

面接委員が Let's start the test. (テストを始めましょう)などと言ったら、挨拶タイムは終了です。パッセージとイラストが印刷された「問題カード」を、This is your card. (これがあなたのカードです)と渡されるので、Thank you. と答えて受け取りましょう。

6. **パッセージの黙読(20秒)** 面接委員の指示に従って、パッセージを黙読します。

ポイント

最初に課されるのは、「問題カード」に印刷されたパッセージを、20秒間で黙読することです。Please read the passage silently for 20 seconds. (20秒でパッセージを黙読してください)などと言われるので、All right. と返事をして黙読に取りかかりましょう。

英文の量は30語、3文程度です。まずはタイトルに注目して、パッセージの大意を把握し、そのあと本文に目を通します。重要な情報が含まれていることが多い名詞、動詞、形容詞に注意しながら、最後までひとつおとり目を通すようにしましょう。音読する際にポーズを置くべき、ピリオドやコンマの位置を確認することも大事です。

注意

文の構造をじっくり考えたり、「この単語の意味、何だっけ」などと悩んだりしていると時間が足りなくなります。

7. **パッセージの音読** 面接委員の指示に従い、パッセージの音読を始めます。時間制限はありません。

ポイント

次に、パッセージの音読が求められます。Now, please read the passage aloud. (では、声に出してパッセージを読んでください)などと言われるので、OK. と返事をしてタイトルから読み始めましょう。

大事なのは棒読みにならないよう、抑揚や強弱をつけることです。パッセージの英文のほとんどは平叙文なので、文末は下降調で読みましょう。内容的に重要な情報を含む語は、やや強く読み上げます。class や lunch など日本語にもなっている単語が出てきた場合は、アクセントをつけるなど、英語らしく発音するよう気をつけましょう。知らない単語があっても、止まってしまったり、飛ばして読んだりするのはよくありません。スペルから発音を類推して堂々と読み切りましょう。

8. **パッセージについての質問(No. 1)** 音読したパッセージの内容について質問されます。「問題カード」を見ながら解答できます。

ポイント

まず、Please look at the passage. (パッセージを見てください)と指示されます。それから、パッセージの内容について質問されるので、文頭の疑問詞を注意して聞きましょう。多くは Why で始まる質問です。

ポイントは、質問に含まれる主語と動詞をしっかり聞き取ることです。その主語や動詞をパッセージの中から探し出すようにすると、正解を含む文が見つけやすくなります。該当する文を見つけたら、主語を代名詞に置き換え、不要な部分を省いて読み上げましょう。

9. **イラストについての質問(No. 2、No. 3)** 「問題カード」のイラストにかかれた人・物に関する質問をされます。

ポイント

No. 2と No. 3は、「問題カード」に印刷されたイラスト中の人物の行動や物の状況を描写するという課題です。まず Please look at the picture. (イラストを見てください)と言われ、それから質問されるので、文頭の疑問詞とそれに続く主語をしっかりと聞き取り、イラスト中の誰[何]についての質問なのか、理解しましょう。

ポイントは質問の主語を適切な代名詞に換えることと、動詞を適切な形にすることです。books という複数の物を them という代名詞で受けることも重要です。例えば、Where is **the woman** going to put **the books**? と聞かれたら、**She's** going to put **them** on the table. のように、the woman を she に換えることと、質問に合わせて is going to do という表現を使って答えることが求められます。

単数の物について述べる場合は、冠詞の a / an に注意しましょう。例えば、「彼はバッグを1つ持っています」と答える場合は、He has a bag. と a をつけなければいけません。些細に思えるかもしれませんが重要なことなので気をつけましょう。

10. **「問題カード」を裏返す** No. 3の質問が終わったら、面接委員から、「問題カード」を裏返して机の上に置くよう指示されます。Please turn the card over. と言われるので、落ち着いて従いましょう。
11. **受験者自身の意見などを問う質問 (No. 4、No. 5)** 受験者自身の意見などを問う質問がされます。「問題カード」のトピックと関連しない内容であることもあります。

ポイント

No. 4と No. 5では、受験者自身の意見を尋ねられます。「問題カード」の話題と関連性のない質問であることが多いので、先入観を持たずに聞き取りましょう。また、「問題カード」を見ずに解答する課題なので、面接委員の目をしっかりと見て、アイコンタクトを取りながら答えることも大事です。受験者自身の好みや希望を聞かれることが多いので、I'd [I would] like to do (私は...したいです) という表現を使い慣れておくといでしょう。

No. 5では多くの場合、まず Do you ...? などと聞かれ、Yes. / No. と返事をすると、その返事を踏まえて会話が進みます。例えば、Do you like to watch TV? と聞かれ、Yes. と答えると Please tell me more. (もっと説明してください) と言われるなどです。I often watch music programs. (私は音楽番組をよく見ます) などと、話題からはずれないように答えるようにしましょう。No. と答えた場合は What do you like to do at home? (家で何をするのが好きですか) のように、1つめの質問とは違う話題を聞かれることが多いです。I like to read books at home. (私は家で本を読むことが好きです) などと答えましょう。答えは、YES・NOどちらでも、まったく構いません。あなたが答えやすい方で答えてください。Which do you like better, A or B? (AとB、どちらの方がより好きですか) と質問され、その理由を Why? と聞かれることもあります。つまり、受験者の返事によって質問が異なるので、疑問詞と動詞に注意して、質問を確実に聞き取るようにしましょう。

12. 「問題カード」を面接委員に返す 面接委員から、「問題カード」を返すよう言われます。

ポイント

面接委員に This is the end of the test. などと言われたら試験終了です。May I have your card back, please?(カードを返していただけますか)などと言われるので、Here you are. と言って「問題カード」を渡しましょう。

13. **退室** 挨拶をして退室します。退室後は他の受験者と話したり、控え室に戻ったりすることはできません。

ポイント

面接委員に You may go now.(行っていいですよ)と言われたら、Thank you. Goodbye. などと挨拶して退室します。

退室時は、忘れ物をしないよう注意しましょう。退室後は、他の受験者と話をしたり、控え室に戻ったりすることはできません。

QRコードを読み取ると、英検3級の動画が見られます。



アティチュード

英検3級の二次試験では、アティチュード(態度・姿勢)も評価対象となっています。具体的にいうと、発声の明瞭さや反応の自然さ、積極性なども採点されるという意味です。ですから、積極的にコミュニケーションしようとする姿勢を見せ、相手に聞き取りやすいよう、大きな声ではきはきと話しましょう。入室から退室までの態度のすべてが評価されるので、無言で勝手に席に着いたり、目も見ずボソボソ答えたりなどはしないよう気をつけましょう。質問をされたら、「完璧に答えなくては！」と悩んで不自然な間をあけるより、Well, ... などと言って会話をつなぐ方が好印象です。

いちばんいけないのは、黙ってしまうことです。英語を話すスキルは未熟でも、知っている単語や文法を活用して自分の意志を伝えようとする姿勢があれば、アティチュードの評価はプラスになります。文法などでミスをしたとしても、明快地に Excuse me. と行って仕切りなおせば大丈夫です。とにかく避けたいのは、「失敗した...」と諦めて投げやりになったり、発音の悪さや苦手意識をごまかそうとしてモゴモゴと不明瞭にしゃべったりすることです。

シチュエーション別

★ Pardon? (何ですって?)

面接委員の言ったことが聞き取れなかった場合は、聞き返しても大丈夫です。Pardon? や Pardon me? と行って、もう一度言ってもらうようにしましょう。Excuse me? や Sorry? という手もあります。これらの表現は、相手の発話のすぐあとで使うべき表現なので、聞き取れなかった場合はすぐにこう言うようにしましょう。間が空いてから Pardon? では不自然に聞こえ、減点の対象になります。

また、度が過ぎる聞き返しはNGです。反応が不自然だということでアティチュードに響きますし、「この受験者はリスニング力が低いのだ」と判断されて、次の質問へ進められてしまうかもしれません。

★ Well... (ええと...)

ちょっと考えてから答えたいときは、Well, ... と行って考え中であることを伝えましょう。Let's see. や Let me see. など使えます。Hmm. と言ったり、質問中のキーワードをゆっくり繰り返したりするという手もあります。無言で考え込むことだけは避けましょう。「聞き取れないのだな」と誤解され、最悪の場合、次の質問へ進められてしまいます。

★ Could you say that again? (もう一度言っていただけますか?)

面接委員の言ったことが聞き取れなかった場合は、聞き返しても大丈夫です。Pardon? や Pardon me? と行って、もう一度言ってもらうようにしましょう。Excuse me? や Sorry? という手もあります。これらの表現は、相手の発話のすぐあとで使うべき表現なので、聞き取れなかった場合はすぐにこう言うようにしましょう。間が空いてから Pardon? では不自然に聞こえ、減点の対象になります。

また、度が過ぎる聞き返しはNGです。反応が不自然だということでアティチュードに響きますし、「この受験者はリスニング力が低いのだ」と判断されて、次の質問へ進められてしまうかもしれません。